

さいたま市立桜山中学校
桜山中だより

学校教育目標 「学べ 磨け 輝け」 校訓「自主創造」

〒339-0008 さいたま市岩槻区表慈恩寺 684-1 電話 048-794-4061



令和8年9月号

令和8年 8月26日発行

1年22人 2年32人 3年32人

確かな成長を感じた夏、未来へつながる2学期へ

校長 五十嵐 紀子

厳しい猛暑が続く中での2学期スタートとなりました。平素より本校の教育活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。2学期は数多くの行事を通じて生徒たちが大きく成長する時期です。しばらくは厳しい暑さが続くことが予想されますが、生徒たちの健康面に十分留意しながら、安心して学びに向かえる環境づくりを進めてまいります。

夏休み期間中、生徒たちはそれぞれの目標に向けて学習や活動に取り組み、充実した時間を過ごしました。私自身、各活動の応援に足を運ぶ中で、本校の生徒たちが最後まで力を尽くし、素直な心で経験から多くを学び取ろうとする前向きな姿勢を随所に見ました。その姿には、仲間と励まし合いながら成長を重ねていく本校らしさが表れていました。

地域ボランティア、早朝からの駅伝練習、陸上競技部の県大会出場、女子ソフトテニス部の研修大会での健闘、各部活動による新人戦や東岩槻まつりイベントに向けての主体的な練習、さいたま市ストップいじめ！子どもサミットでの意見発表、ビブリオバトルでの堂々としたプレゼンテーションなど、多方面で自ら挑戦する姿が見られました。こうした経験は、生徒一人ひとりが自分の可能性を広げる貴重な機会となり、大変誇らしく思っております。

また、夏休み中は教職員も自己研鑽に努めました。特に小・中合同研修会では、義務教育9年間を見通した教育の方向性について議論を重ね、子どもたちの学びがより滑らかにつながる環境づくりを改めて考える機会となりました。個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指し、互いの実践や課題を共有しながら、指導の工夫や支援の在り方について前向きな議論が行われました。先生方の知見と情熱が交わることで、授業改善の具体的なアイデアや小中連携の新たな取組が生まれ、2学期の教育活動に生かしていける手応えを感じております。



【小・中合同研修会】

2学期は、学校行事の表舞台に立つ生徒だけでなく、陰で支えてくださる多くの方々の存在が、教育活動を支える大きな力となります。地域の皆様や保護者の皆様の温かいご支援が、生徒たちの学びや挑戦を確かなものにしてくださっています。今後とも、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。教職員一同、校訓「自主創造」を胸に、生徒たちが自らの未来を切り拓いていけるよう、力を尽くしてまいります。

末筆ながら、熊本地震や千葉豪雨で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。